

キャリア教育だより

令和3年11月2日
第121号
高校教育課

令和4年3月卒業予定者の就職内定状況 ～前年10月末比1.1ポイント増!～

宮城労働局の令和3年9月末現在の就職内定状況がまとまりましたのでお知らせします。

宮城県内高校生の9月末現在の就職内定状況は、卒業予定者19,249人、就職希望者3,246人に対し、就職内定者1,959人で、内定率60.4%となっています。前年10月末との比較では1.1ポイントの増加となりました。(※昨年度は10月16日が就職試験解禁であったため10月末との比較とした。)就職内定者のうち、県内内定率は59.1%(希望者2,661人、内定者1,573人)、県外内定率は66.0%(希望者585人、内定者386人)となっており、県内内定率は昨年より1.5ポイント増加し、県外内定率は0.6ポイント減少している結果となりました。

就職内定率は選考・採用内定開始が9月16日となった昭和63年3月卒以降、3番目に高い水準となっています。また、宮城労働局の発表では、県内高卒求人数は9,181人で、県内就職希望者に対する求人倍率は3.45倍となっています。就職未内定者の皆さんについては、最後まで諦めずに、希望の進路達成に向けて頑張ってください。

内定を得た生徒の皆さん、おめでとうございます。これから卒業までの間は、来春の入社に向け、社会人になるための準備をしましょう。

高校教育課では例年、11月下旬から2月にかけて、就職が内定した生徒を対象に、社会人としての基礎的なマナー、知識を身につけることを目的とした「**入社準備セミナー**」を実施しています。社会人になった時に、非常に役立つことを学べるよい機会になっていますので、ぜひ参加してください。



↑ 「入社準備セミナー」(令和元年度)の様子

宮城県農業大学校について

本県には、農業の近代化と経済社会の発展に対応できる、高度な知識・技術を身に付け優れた農業経営者と農村地域の指導者を育成することをねらいとして設立された農業大学校があります。

農業大学校は大正8年「県立農事試験場技術養成講習」から始まり、「県立農業講習所」、「県高等農業研修所」、「県農業実践大学校」を経て約100年、卒業生の多くが県内で先進的な農業を営み、認定農業者や農業指導者として宮城県の農業の発展に貢献しています。

農業大学校は名取教場、古川教場、岩出山教場の3つの教場に分かれており、1年次は名取教場を中心に、2年次では園芸学部、アグリビジネス学部は名取教場、水田経営学部は古川教場、畜産学部は岩出山教場で学習します。各教場とも素晴らしい自然環境に恵まれており、新しい農業を目指す若者にとって最高の学習環境です。学校では、将来の就農に向け、一人一人が自ら課題を見つけ取り組むプロジェクト学習を取り入れた「キャリア形成プログラム」を実施し、実践力を高めています。農業大学校は平成21年度より専修学校化し、卒業時に「専門士」の資格が与えられるようになりました。それにより、短期大学卒業と同等に扱われることになり、4年制大学への編入試験を受けることができるようになっていきます。

農業に興味のある人、畜産に興味のある人は、選択肢の一つとして考えてみてはいかがでしょうか。ぜひ、ホームページをチェックしてください。

<https://www.pref.miyagi.jp/site/noudai/>

